

(用紙Q) 本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

都道府県名	19 山梨県
市区町村名	19204都留市
自治体区分	都道府県

R7仮申請時もしくは事業計画時に提出していただいた目標に対しての評価・分析等を記載してください

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
19204都留市	③学校と家庭 の課題	01 家庭等にお ける学習習慣の定着	子どもの学力向上のためには、学校だけでなく、家庭における学習習慣の定着が必要である。しかし現状では子どもの勉強を見てあげる余裕がなかったり、家庭学習に無頓着な保護者がいたりするなど、家庭の教育力の差が子どもの学力差に影響している。	全ての児童が参加できる放課後子ども教室の活動の一つとして学習に取り組める場を用意し、地域の方々の力を借りて学習支援活動を試行的に実施する。	令和6年度までの放課後子ども教室における学習支援活動は、単発で行う夏休みの宿題等の支援のみだった。今後は子どもたちが学習習慣を身に付けられるよう、定期的な学習支援活動を実施する。	地域の方々が子どもたちの家庭学習の現状について理解し、子ども教室の学習支援活動のスタッフとして指導や見守りを行う。	地域の人材を活用した定期的な学習支援活動を実施する子ども教室数	0	教室	2	2	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 今年度より、「宝っ子クラブ七里」および「禾一わくわくクラブ」の2教室において、新規に学習支援活動を導入した。各教室には学習支援員を4名程度配置し、児童への適切な指導および安全な見守り体制を構築して事業を実施した。地域に即した学習支援の形が構築できた一方で、送迎問題等の運用面での課題が明確となった。今後は、抽出された課題に対する具体的な対応策を分析した上で、他の子供教室へ本事業を展開していくか、慎重に検討を進めていく方針である。	市HP

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。